

成長産業育成のための研究開発支援事業(旧 COE プログラム) 研究結果概要

□研究プロジェクトの概要

研究プロジェクト名	医療及び介護コミュニケーション支援のための AI 活用基盤構築及び教師データ
代表機関	株式会社エレクトロスイスジャパン
共同研究チーム構成機関	神戸国際医療交流財団 神戸大学医学部附属病院国際がん医療・研究センター 株式会社情報システムエンジニアリング
研究分野	AI、健康医療

□研究結果の概要

<p>【①研究プロジェクトの概要、特色】</p> <p>海外にいる患者やケアを必要とする者の来日受け入れ（国際患者対応という）に向けたコミュニケーション支援にフォーカスした ICT 基盤を研究・構築する。特色として、来日候補者とのコミュニケーションエラーや確認事項の漏れ、結果として満足度の低下につながる不確実性を回避するナッジ情報を AI を利用してシステム使用者に提供したり、多言語機能を備えたりしていること。</p>
<p>【②研究の成果】</p> <p>現地患者 - 国際患者対応窓口間のコミュニケーションを支援する ICT 基盤を構築した。ICT 基盤は実運用を想定して次のような提供価値を備えたシステムとして具現化した。</p> <p>合意形成の過程および結果をリアルタイム共有できる／リアルタイム翻訳に対応したチャット／やりとりで生じる不確実性を回避するための常時監視 AI／条件に合致する病院候補の提示／その時々状況に基づく不確実性の有無の AI 確認／ウェアラブル機器へのレコメンド表示</p>
<p>【③本格的な研究への展開】</p> <p>多言語機能の実装／満足性向上／有効性向上／利用状況網羅性について研究し、実際の現場運用に適した ICT 基盤および教師データを作成した。</p>
<p>【④今後の事業化に向けた展開】</p> <p>実運用を試験的に行ったのち、事業ビジネスモデルを構築する。試験運用およびロールモデルの開発は 1 年程度とし、2 年後にはビジネスを事業として展開できるよう計画する。</p>
<p>【⑤地域的波及効果】（技術基盤強化等の効果、地域社会・経済発展への寄与）</p> <p>ビジネスモデルの検討時に受け入れを希望する病院に働きかけを行うが、優先的に兵庫県内の病院への参加を働きかけ、兵庫県を中心にビジネスモデル（兵庫モデル）を確立する。並行して患者を送れる国または地域を増やし（韓国の次は中国を想定）、将来的には兵庫モデルを全国へ展開したい。先行する兵庫県在籍の病院は、本ビジネスモデルにおける顧客紹介を一定期間享受できる想定である。</p>